

〈三郷学の視点②〉

三郷学の視点

10. 予測する (計画づくり)

モデルなき時代をむかえるとともに、地域課題が複雑多様化する今日、社会環境の変化に対応しつつ、地域に存在する資源のネットワークを活かしながら、〈政策・制度のネットワーク〉づくりを進めることが求められています。そのためには、地域に存在するさまざまな政策主体(市民・団体・企業・市など)が自らの組織や地域の評価を行い、その能力と魅力を向上させていくことが大切です。

そこには、長期・総合的視点からの戦略計画とそれを

具体化するための手順を示した行動計画が必要になります。しかしながら、これらの計画は予定どおりにいかないことも少なくありません。社会環境が変化することや政策主体が行動することにより当初予測していなかった影響が副作用や反作用として生ずるからです。そのため、計画づくりにおいては、計画が予定どおりに進まないとき、どのような対応をとるかあらかじめ決めておくことが必要です。

※〈政策・制度のネットワーク〉とは、わたしたちが地域で共有するくらしの基盤のこと。

